



# 新しい小田原へ!

NO.2

H22.10月

## 生ごみは宝! 「生(いき)ごみ小田原プロジェクト実践中」

参加世帯数 948 軒。段ボールコンポストや EM ぼかしを使った方法などで生ごみを堆肥に変えています。1つの段ボールコンポストで、3ヶ月間に50kgの生ごみを処理できたという報告もありました。1年で200kgです! (8/29(日) 市民と市長のまちかどトークにて)

『ごみ処理費』年間総額、約30億円。その内、燃せるごみは約22億円(生ごみはその40%で、8.8億円) 「混ぜればごみ、分ければ資源」人間力が大事です。

生ごみを燃さなければ、広域ごみ焼却場建設計画(約170億円の建設費)(H32年度完成目標、1市3町で、320t/日の焼却施設)が見直せて、ランニングコストも激減します。

先日9/23(祝)に、小田原再生フォーラム「生ごみは宝だよ!」が開催された。講師の吉田俊道さん(大地といのちの会代表)のお話を聴いて、参加者は笑いと共に、一般常識の間違えに気づかされ、土が愛おしくなりました。土壌細菌は、いのちを循環させるポンプだったのです。元気な土から元気な野菜が。そして私たちに! 大自然の循環を大切にしよう!! (詳しくは、[大地といのちの会](#)で[検索](#)してください)



## 「市長の日記」は、ご存知でしょうか?

平成20年5月24日に、加藤市長が就任してから大きく変わった事が数々ありますが、そのひとつに開かれた市政があります。できる限り情報をオープンにして、市民と共有する事で「市民が主役のまちづくり」を目指しています。

小田原市のホームページには、「市長の日記」のコーナーがあり、H20年6月13日からスタートしました。

H21年3月24日から(土、日、祝日はお休み)は、市長は毎朝5時には起床して日記を書き、市民に毎日発信し続けています。(ものすごい実践です)小田原市が今どのようなことをやっているのかが良く分かると共に とても、加藤市長の人柄が伝わり、楽しく参考になります。( [小田原市長の日記](#) [検索](#) でお探してください)

★ 裏面に、「段ボールコンポスト」の日記を掲載いたしました。どうぞご覧下さい。

## 「段ボールコンポスト」

平成22年6月28日（月）の、加藤市長の日記より

25日の一般質問2日目は、4人のうちお二人の議員から、生ごみ堆肥化事業「生（いき）ごみ小田原プロジェクト」についての質問が出されました。安野議員からは、生ごみ堆肥化を市の政策としてしっかりと位置づけ、段ボールコンポストだけでなく他の手法（EMぼかしや電動処理機など）に対しても助成などを考え、全庁的に取り組んでゆくべきだとのこと指摘。小松議員からは、段ボールコンポストは非常に評判が良く、ごみの減量化に大きな効果が見込めそうなので、ぜひ推進をすべきであること、農地に還元する堆肥作りというよりも、まずはごみの減量という目標でやってゆくべき、とのこと意見。いずれにしても、各議員さんからも推奨の言葉を頂きました。

議会でも答弁しましたが、この「生（いき）ごみ小田原プロジェクトに参加してくれている世帯数は、948軒。そのうち、段ボールコンポストに取り組んでくれているのが813軒。始まって既に1ヶ月以上が経過しており、窓口となっている市環境政策課にはこれまで延べ100件近い問い合わせの電話があるようですが、皆さん熱心に取り組んで頂いているようです。

我が家も、少し遅れてではありますが段ボールコンポストに取り組んでいます。妻も楽しみながら一緒に段ボールの中の様子を見守っています。妻は、生ごみの分解が進むようにと、これまでそのままごみに出していたキャベツの外葉などをさらに細かく刻むようになりました。卵の殻も細かく割っています。そうやって手をかけていくと、生ごみもいわゆる汚い感覚は全くなくなってしまいました。

また、生ごみを出来るだけ出さないように意識しますので、例えばキュウリのヘタなどもできるだけ小さくなるように、先端ギリギリまで食べるようになります。

さらに、この減量意識は生ごみだけに留まらず、他の資源ごみの分別も一段と徹底しつつあり、我が家の燃せるごみが大幅に減っています。「生（いき）ごみ小田原プロジェクト」に参加すると配布される「生ごみ入っていません袋」も、ごみの量自体が少なくなってしまったので、まだあまり出番がない状態です。

我が家のこんな状況を見ても、今回の段ボールコンポストの取り組みが、生ごみだけでなく、ごみの大幅な減量に繋がる可能性を強く感じています。もちろん、この実験が3~4ヶ月経過して生ごみの基材の分解能力が落ちたときに、それを堆肥としてどう使うか、農家の皆さんとどう連携するかといった課題など、息の長い継続に向けた参加者のフォローがとても重要となるでしょう。

**おだわらを拓く力** 川東南支部 連絡先 電話 0465-21-5260

(当会は加藤けんいちを後援しています) FAX 0465-21-5261

〒250-0011 小田原市栄町 2-13-1 E-mail [powers@mbn.nifty.com](mailto:powers@mbn.nifty.com)

または <http://www.katoken.info/index.html>